



西方寺古城保育園 水俣市古城2丁目221-2 TEL.63-1828 園長 萩嶺 善信  
担当 K 祐美

涼しい秋風が吹き始め、過ごしやすくなってきました。色づき始めた葉っぱや木の実たちがたくさん見られるようになりました。10月は、運動会、子ども達も運動会に向けて、かけっこ お遊戯など元気に練習を頑張っています。朝夕の寒暖の差が厳しい時期でもあります。体調管理には十分気をつけて楽しい運動会にしていきたいと思ひます。



**10月生まれのおともだち  
おたんじょうびおめでとう!!**

**すみれ** 1日 T りりちゃん (6さい)

21日 T りんちゃん (6さい)

**ひまわり**

12日 Y ともこちゃん (4さい)

**さくら**

16日 A れみちゃん (3さい)

**ほら**

12日 T しゅいくん (2さい)

**行事予定**

3日(土)クッキング (月見団子)

9日(金)稲刈り

14日(水)予行練習

17日(土)運動会準備

18日(日)第32回大運動会

21日(水)誕生会

27日(火)クッキング (おにぎり)

30日(金)秋の遠足

※交通安全指導

※避難訓練

・今年も運動会の準備お世話になります。  
ご協力お願い致します。

**保育目標**

**すみれ** 秋の自然にふれながら外で元気に遊ぶ。 **ひまわり** 秋の自然にふれて遊ぶ楽しさを味わう。

**さくら** 行事に楽しく参加する。 **ほら** 秋の自然にふれながら外で元気に遊ぶ。

9月のえんだよりでご紹介しました。お彼岸に関連してもう少し詳しくお話をしたいと思ひます。

仏さまが示された **六つの実践徳目(六波羅蜜)**

- 一、布施(ふせ)物でも心でも行いでも喜んで与える
- 二、持戒(じかい) 真実の道を歩むために規律をしっかりと守って生きる
- 三、忍辱(にんにく) 苦しみ・悲しみに出会っても、時移りやがて平穏な日々があること信じて耐え忍ぶ
- 四、精進(しょうじん) 今いつきの尊い命を本当に生かすよう何事にも怠らず励む
- 五、禪定(ぜんじょう) どんなときでも深く考えて、決して心を乱さない
- 六、智慧(ちえ) 仏さまのみ教えを学び、それをよりどころにして正しく考え、判断する

この六つのことを「六波羅蜜」といい、波羅蜜とは幸せに生きるための実践徳目という意味ですから、みなさまも六波羅蜜を是非実行して幸せになりましょう。

**「持戒(じかい)」 あいさつってなぜしなきゃいけないの?**

あいさつをする意味とは、“私はあなたのことを人間として認めていますから、私のことも人間として認めてくださいね。同じ人間同士です。けんかしないで仲良くしようではありませんか” などの思いを伝えるサインが一つ。

次に、あいさつをするということは、“私は決してあなたを敵だとは思っていません。大切な仲間であり味方ですよ” という心を相手に知らせる言葉だということが一つ。

つまり・・・お互いにあいさつできる人は、相手を人間として認めると同時に、仲間であり味方同士ということになります。

逆にあいさつができない人は、心を通じ合わせようという気持ちがなく、仲間にも味方同士にもなりにくいということですね。

しかし、人間は一人では生きていけません。そこで、こんな詩をご紹介します。

朝は『おはようございます』 夜は『おやすみなさいませ』

『いただきます』に『ごちそうさま』

おでかけおかえりごあいさつ だれかにあったら『こんにちは』

別れるときは『さようなら』

しっばいしたら『すみません』 いたわる言葉は『ごころうさん』

お礼の言葉は『ありがとう』 愛の言葉に花が咲く (作/ふじもと こうほう)



あいさつをすると、仲のよいお友達とはもっと仲良くなれます。仲の悪いお友達とは、仲のよいお友達になることができます。

だから私たち大人が手本となり明るいあいさつのできる元気な子どもたちを、育てていきたいで

